

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.提出物(授業ワークシートの提出と取り組み状況) 3. 小テスト 4. 確認テスト(学期に3回実施) 以上の4項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備 考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		国語					科目	国語表現			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							2	国語表現(大修館書店) 国語の表現力トレーニングノート(大修館書店)アシスト常用漢字(数研出版)			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】				
漢字検定4級相当漢字の読み書きができる。テンプレートを理解し、原稿を作成できる。				スピーチ、発表学習を通し、創意工夫を繰り返し、表現力をつける。			ワークシート、課題への取り組み。				
学期	(月)	指導項目			指導内容			評価基準		予定時数	
								知	思	態	
1学期	4	オリエンテーション			国語表現を学ぶ目的について					○	25
		言葉と表記(1)			現代仮名づかいについて			○	○	○	
		漢字学習			4級配当漢字 2/30			○		○	
	5	言葉と表記(2)(3)			送り仮名、同音異義語、異字同訓			○	○	○	
		漢字学習			4級配当漢字 8/30			○		○	
	6	言葉と表記(4)			慣用表現			○	○	○	
		漢字学習			4級配当漢字 14/30			○		○	
		スピーチ学習①			原稿づくり、発表、振り返り			○	○	○	
	7	言葉と表記(5)			まとめ			○	○	○	
		漢字学習			4級配当漢字 16/30			○		○	
2学期	9	整った文を書く(1)			係り受けを整える			○	○	○	25
		整った文を書く(2)			文末表現の統一			○	○	○	
		漢字学習			4級配当漢字 22/30			○		○	
	10	相手に応じた言葉遣い(1)			和語・漢語・外来語			○	○	○	
		相手に応じた言葉遣い(2)			話し言葉と書き言葉			○	○	○	
		漢字学習			4級配当漢字 28/30			○		○	
	11	相手に応じた言葉遣い(3)			敬語を使い分ける			○	○	○	
		スピーチ学習②			原稿づくり、発表、振り返り			○	○	○	
	12	相手に応じた言葉遣い(3)			敬語を使い分ける			○	○	○	
		漢字学習			4級配当漢字 30/30			○	○	○	
3学期	1	スピーチ学習③			テーマの設定、原稿メモ作成			○	○	○	20
	2	スピーチ学習③			原稿づくり、発表、振り返り			○	○	○	
	3	わかりやすい文を書く(1)			長すぎる文を短文に			○	○	○	
		わかりやすい文を書く(2)			読点を効果的に使う			○	○	○	
		わかりやすい文を書く(3)			あいまいな文を避ける			○	○	○	
年間予定授業時間数											70

評価の方法	ワークシート、提出物の完成度と提出状況。 協働学習への参加、課題解決に向けての意欲。 漢字テストによる学習到達度。 スピーチ、発表学習への取り組み。 上記項目を観点別に評価し、評定を算出する。
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	地理歴史					科目	地理総合
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	130 二宮 地総 705

教科・科目のねらい（目標）

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
・地図やグラフ等の資料から、その地域がどのような社会なのかを読み取り、答えることができる	・資料から適切な情報を読み取り、そのデータを基に地理的事象について自分なりの判断ができる ・資料を読み取り、その地域が今後どのような社会になるかを構想することができる	・授業を通して、地理の知識を身につけ、今後にかししながら、地球上の諸課題についても、主体的に関わる姿勢を持つ ・遅刻・欠席をほとんどせず意欲を持って授業に参加し、課題等に積極的に取り組み、提出期限を守り提出する

学期	(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定
				知	思	態	
1学期	4	地図帳の使い方 緯度&経度・方位 地図の種類(地形図・主題図など)	・具体的な地名を地図帳で調べることができるようになる ・地球の姿を確認し、地図を見て方位を確認する ・地図の種類について学習する	○	○	○	30
				○	○	○	
				○	○	○	
	5	日本の領土&領海・都道府県 世界の様々な地域(気候帯・宗教)	・日本の領土、地名について確認する ・世界の6つの気候区分を学習する (気候・生活様式の違い、宗教と生活様式の結びつき)	○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	
	6	世界の諸地域(アジア) 世界の諸地域(ヨーロッパ・アフリカ・南北アメリカ・オセアニア州)	・世界の諸地域について、それぞれの地域の地理的特徴・生活様式・経済活動・文化について学習する。	○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	
	7	・確認テスト 世界の諸地域について(調べ学習)	・1学期の学習内容に関する確認テスト ・世界の諸地域についての調べ学習	○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	
2学期	9	1学期の復習 (世界の地域区分・気候帯など) 日本の諸地域(九州地方)	・日本の九州地方について、地理的特徴・生活様式・経済活動・文化について学習する。	○	○	○	32
				○	○	○	
				○	○	○	
	10	日本の諸地域 (中国・四国・近畿・中部・関東・東北・北海道)	・日本の諸地域について、地理的特徴・生活様式・経済活動・文化について学習する。	○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	
	11	・地球的課題と国際協力 人口・食料、都市、資源、環境問題	・地球上の諸課題(人口・食料、居住・都市、資源・エネルギー、環境問題)について、地理的データを確認しながら、現在の問題点と国際協力体制を学習する。	○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	
	12	・確認テスト 地球的課題について	・2学期の学習内容に関する確認テスト ・地球上の諸課題について、地理的データを確認しながら、現在の問題点と国際協力体制を調べる。	○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	
3学期	1	・生活圏の諸課題 自然環境と防災 地図の活用	・日本の自然環境の特徴、自然災害について学ぶ ・身近な地域の災害の可能性を調べる	○	○	○	8
				○	○	○	
				○	○	○	
	2	自然環境と防災 持続可能な地域づくり 地図の活用(身近な地図作成)	・身近な地域の災害の可能性を調べる (ハザードマップの活用法を学ぶ) ・様々な地図データの例を確認し、地図を作成する。	○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	
	3	・確認テスト 1年間の振り返り	・3学期の学習内容に関する確認テスト	○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	

年間予定授業時間数 70

評価の方法	○地理的事象についての基本知識を獲得しているか ○資料から適切な情報を読み取ることができるか ○地理的事象に関して、知識を基に考察し、自らの考えを表現できるか ○授業、課題に対して、積極的・主体的に取り組む姿勢を持っているか ○出席状況
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	数学					科目	数学 I 演習
クラス又は班	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	2年5組	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	新編数学 I (数研出版)

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
図形と計量、二次関数及び集合と命題についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表す、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学 期	4 三角比 三角比の性質	sin,cos,tan 三角比の表 三角比の応用	○	○	○	39
	5 三角比の相互関係 三角比の拡張 三角比の方程式	三角比の相互関係 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の三角比 $\sin \theta = \alpha$ の解法	○	○	○	
	6 正弦定理 余弦定理 面積	正弦定理 余弦定理 三角形の面積	○	○	○	
	7 関数とグラフ	関数の値、1次関数のグラフ	○	○	○	
2 学 期	9 2次関数のグラフ	頂点が原点にある場合、平行移動した場合のグラフ 平方完成が必要なグラフ	○	○	○	39
	10 2次関数の最大・最小 2次関数の決定 2次方程式	定義域のある場合、ない場合の求め方 いろいろな条件での求め方 2次方程式、実数解の個数	○	○	○	
	11 2次不等式 2次関数とx軸	2次不等式 判別式の活用	○	○	○	
	12 集合と命題	集合、命題と条件	○	○	○	
3 学 期	1 集合と命題	命題とその逆・対偶・裏 命題と証明	○	○	○	27
	2 データの分析	データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数	○	○	○	
	3 データの分析	分散と標準偏差、2つの変量の間の関係	○	○	○	

年間予定授業時間数

105

評価の方法	【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト 【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学期末確認テスト、提出物、授業態度 【主体的に学習に取り組む態度】欠出席、授業態度、振り返りシート 観点別評価は各項目の点数によって評価する。 評定は、各項目の合計点数によって評価する。
備考	年度当初に基礎学力診断テストを行い、科で基準を設けたうえで、Bクラス的人数が10人程度になるように分ける。この年間授業計画はABクラス共通である。

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		理科					科目	物理基礎			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							2	東京書籍「新編物理基礎」			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】			
エネルギー的な視点から、自然現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。				観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。				エネルギー的な視点から、自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
学期	(月)	指導項目		指導内容			評価基準			予定時数	
							知	思	態		
1学期	4	1編 物体の運動とエネルギー		速さと速度						28	
		1章 直線運動の世界		直線運動			○	○	○		
	5			重力加速度・放物運動			○	○	○		
				【実験】重力加速度の測定			○	○	○		
		2章 力と運動の法則		力の合成・分解							
	6			運動の3法則							
				運動方程式			○	○	○		
				【実験】摩擦力							
	7			確認テスト							
3章 仕事とエネルギー		仕事の原理と仕事率			○	○	○				
2学期	9	3章 仕事とエネルギー		仕事の原理と仕事率						28	
				力学的エネルギーの保存			○	○	○		
	10	2編 さまざまな物理現象とエネルギー		【実験】熱と温度							
		1章 熱		熱の移動と保存			○	○	○		
	11	2章 波		【実験】波の伝わり方							
				波長と速さと振動数			○	○	○		
				音波							
	12			確認テスト							
3章 電気		静電気と電流			○	○	○				
3学期	1	3章 電気		電磁誘導						14	
				【実験】電磁誘導			○	○	○		
	2			直流と交流							
				電磁波			○	○	○		
	3			確認テスト							
							○	○	○		
							年間予定授業時間数			70	

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.実験、実習(実験の取り組み、課題の出来ばえ、創意工夫等) 3.提出物(授業プリント、ノート、実験レポートの提出と取り組み状況) 4.小テスト(単元ごとに実施) 5.確認テスト(年間で3回実施)
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		保健体育					科目	体育			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							2	ステップアップ高校スポーツ			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】			
技能について、指示された記録や目標とする動きにおおむね達成している。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。				自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したり、まとめることができる。周りの生徒と協力し、的確なアドバイスをすることができる。				欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や支持をよく聞き、準備や片付けを積極的に行う。ことができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。			
学期	(月)	指導項目			指導内容			評価基準		予定時数	
								知	思	態	
1 学期	4	スポーツテスト			各種スポーツテスト			○	○	○	26
	5	バドミントン/サッカー/柔道・卓球 習熟度で3種目に分かれる			基本技術の習得 個人技能の習得 ゲーム			○	○	○	
		体育理論			スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ			○	○	○	
		水泳			安全に関しての知識 クロール 平泳ぎ			○	○	○	
	7										
2 学期	9	水泳			タイムトライアル			○	○	○	30
	10	バレーボール			基礎技術の習得			○	○	○	
		テニス・卓球			個人技能の習得						
		バスケットボール			ゲーム						
	11	バレーボール			基礎技術の習得			○	○	○	
		テニス・卓球			個人技能の習得						
		バスケットボール			ゲーム						
	12	体育理論			オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果			○	○	○	
3 学期	1	持久走			マラソン大会に向けての練習			○	○	○	14
	2	バスケットボール/サッカー/卓球 習熟度で3種目に分かれる			基本技術の習得 個人技能の習得 ゲーム			○	○	○	
	3	体育理論			スポーツとドーピング スポーツと環境			○	○	○	
年間予定授業時間数											70

評価の方法	・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・主体的に学習に取り組む態度等 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		保健体育					科目	保健			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							1	現代高等保健体育			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】			
知識・技能を問う問題について、おおむね解答することができる。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。				思考・判断・表現を問う問題に対して積極的に取り組み、おおむね解答できる。自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したりまとめることができる。				欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や指示をよく聞きながらも、積極的に自分の意見を発言し、周りの生徒と協力することができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。			
学期	(月)	指導項目			指導内容			評価基準			予定時数
								知	思	態	
1 学期	4	生涯を通じる健康			オリエンテーション						10
					思春期と健康			○	○	○	
					性意識と性行動の選択						
	5	生涯を通じる健康			結婚生活と健康						
					妊娠・出産と健康			○	○	○	
					家族計画と人工妊娠中絶						
	6	生涯を通じる健康			加齢と健康						
					高齢者のための社会的取り組み			○	○	○	
					確認テスト対策						
	7	生涯を通じる健康			確認テスト			○	○	○	
答案返却											
2 学期	9	生涯を通じる健康			保険制度と保健サービスの活用						16
					医療制度と医療費			○	○	○	
					医療機関と医療サービスの活用						
	10	生涯を通じる健康			大気汚染と健康						
					水質汚濁と健康			○	○	○	
					土壌汚染と健康						
	11	生涯を通じる健康			健康被害の防止と環境対策						
					環境衛生活動の仕組みと働き			○	○	○	
					食品と環境の保健と私たち						
	12	生涯を通じる健康			確認テスト対策						
確認テスト					○	○	○				
答案返却											
3 学期	1	社会生活と健康			働くことと健康						9
					労働災害・職業病と健康			○	○	○	
					健康的な職業生活						
	2	社会生活と健康									
								○	○	○	
	3				確認テスト対策						
確認テスト					○	○	○				
答案返却											
年間予定授業時間数											35

評価の方法	・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 ・主体的に学習に取り組む態度等 ・各学期確認テスト 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		外国語(英語)					科目	英語コミュニケーションⅠ 演習				
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材				
担当者							2	VISTA English CommunicationⅠ				
教科・科目のねらい(目標)												
【知識及び技能】					【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】				
東京の工業高校生としてコミュニケーションをとるのに必要な単語の知識、および正確に聞き取ったり読んだりする技能を身につける。					東京の工業高校生としてコミュニケーションをとるのに必要な表現力、聞きとる力を身に着ける。			東京の工業高校生としてコミュニケーションをとる際に、わからないことがあっても話すこと、読むこと、聞くことを継続しようとしている。				
学期	(月)	指導項目				指導内容			評価基準			予定時数
									知	思	態	
1学期	4	クラス分け				1年次の復習						28
						自己紹介練習			○	○	○	
	5	Lesson6				マチュピチュについて						
		Machu Picchu				自己紹介			○	○	○	
	6	Lesson6まとめ				スピーキングテスト①、音読①						
		Lesson7							○	○	○	
		Artificial Intelligence				人工知能について						
7	Lesson7まとめ				スピーキングテスト②、音読②							
								○	○	○		
	確認テスト											
2学期	9	Lesson8				サンタクロースについて			○	○	○	30
		Is There a Santa Claus?										
	10	Lesson8まとめ				スピーキング①、音読①						
		Lesson9							○	○	○	
		Kids' Guernica				キッズゲルニカについて						
	11	Lesson9まとめ				スピーキング②、音読②						
									○	○	○	
12	確認テスト											
3学期	1	Lesson10				エシカル・ファッションに向けて						12
		Ethical Fashion							○	○	○	
	2	TGGに向けて				TGGでの校外学習に向けた準備						
									○	○	○	
	3	確認テスト							○	○	○	
								年間予定授業時間数			70	

評価の方法	1.主体的に学ぶ態度(言語活動においてコミュニケーションを継続する姿勢) 2. 知識・技能(コミュニケーションを行う上で使用頻度の高い単語、教科書内容を理解する上で必要な単語の知識、聞かれたことを正確に理解する技能、正確に聞き取る技能) 3. 思考・判断・表現(コミュニケーションを成立させる力、相手に伝わる話し方の表現、聞いた内容から概要を理解する力) 以上3観点についてA,B,Cの評価をする。
備考	

令和6年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	家庭科					科目	家庭基礎
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	図説 家庭基礎 実教出版

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等について理解しているとともに、それに関わる技能を身に付けている。	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働しよりよい社会・生活の構築に向け、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し、自分の課程や地域社会の生活を想像し実践しようとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準 知 思 態	予定 時 数
1 学 期	衣生活をつくる	人と衣服の関り・衣服の機能・衣服の機能	○ ○ ○	28
	人と関わって生きる	自分と家族。青年期。男女共同参画社会。労働。家族の法律	○ ○ ○	
	衣生活をつくる	エプロン製作・衣服の手入れ	○ ○ ○	
	食生活をつくる	栄養素・食品の選択と表示・食事摂取基準	○ ○ ○	
	社会と関わる	社会保障制度・地域社会とボランティア活動	○ ○ ○	
	食生活をつくる	調理の基本・調理実習	○ ○ ○	
	人と関わって生きる	自分と家族。青年期。男女共同参画社会。労働。家族の法律	○ ○ ○	
	社会と関わる	社会保障制度・地域社会とボランティア活動	○ ○ ○	
	住生活を作る	人と住まいのかかわり・住空間と平面計画	○ ○ ○	
	子どもとかかわる	子どもを知る・生命の誕生と子どもの発達・子どもと遊びと環境	○ ○ ○	
2 学 期	食生活をつくる	栄養素・食品の選択と表示・食事摂取基準・	○ ○ ○	30
	衣生活をつくる	人と衣服の関り・衣服の機能・衣服の機能	○ ○ ○	
	食生活をつくる	調理の基本・調理実習	○ ○ ○	
	衣生活をつくる	エプロン製作・衣服の手入れ	○ ○ ○	
	子どもとかかわる	子どもを知る・生命の誕生と子どもの発達・子どもと遊びと環境	○ ○ ○	
	消費者として自立する	消費行動を考える・契約・販売方法と問題商法	○ ○ ○	
	高齢者と関わる	高齢者の生活・年金・介護保険・高齢者の心身の変化	○ ○ ○	
	消費者として自立する	多様化する支払方法・消費者の権利と責任・経済の中の家計	○ ○ ○	
3 学 期	消費者として自立する	消費行動を考える・契約・販売方法と問題商法	○ ○ ○	12
	住生活を作る	人と住まいのかかわり・住空間と平面計画	○ ○ ○	
	消費者として自立する	多様化する支払方法・消費者の権利と責任・経済の中の家計	○ ○ ○	
	消費者として自立する	消費行動を考える・契約・販売方法と問題商法	○ ○ ○	
	住生活を作る	人と住まいのかかわり・住空間と平面計画	○ ○ ○	
	消費者として自立する	多様化する支払方法・消費者の権利と責任・経済の中の家計	○ ○ ○	
	高齢者と関わる	高齢者の生活・年金・介護保険・高齢者の心身の変化	○ ○ ○	

年間予定授業時間数

70

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.被服製作、調理実習(取り組み、出来ばえ、創意工夫等) 3.提出物(作品、授業プリント、実習レポートの提出と取り組み状況) 4.小テスト 5.確認テスト(学期に3回実施) 以上の5項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、作品や課題の出来ばえ、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

東京都立練馬工科高等学校

70

東京都立練馬工科高等学校

教科・科目のねらい（目標）

學期	(月)	指 導 項 目	指 導 內 容	評 估 基 準			予 定 時 數
				知	思	態	

学 期	9	4. 仕事と動力	・エネルギーと仕事、動力の表しかた・計算法を理解させ、それらの関係を理解させる	○	○	○	35
		5. 摩擦と機械の効率	・機械に働く摩擦の種類と性質について考察させ、その計算法を理解させる。	○	○	○	
	10	第三章 材料の強さ					
		1. 材料に加わる荷重	・材料の機械的性質を学ぶ意義を理解させる。 ・荷重に関する用語と分類について理解させる。	○	○	○	
		2. 引張・圧縮荷重	・応力とひずみの関係を考察させ、応力-ひずみ線図とその内容を理解させる。 ・応力の単位、引張・圧縮応力やひずみの意味、その計算法を理解させる。	○	○	○	
		3. せん断荷重	・せん断応力とせん断ひずみは、既習の垂直応力とひずみを対比して理解させる。	○	○	○	
		4. 温度変化による影響	・熱応力を理解させる ・線膨張係数の計算を理解させる	○	○	○	
	11						
	12	5. 材料の破壊	・材料の破壊を理解させる	○	○	○	
		6. はりの曲げ	・はりの種類と荷重を理解させる ・せん断と曲げモーメントの計算を理解させる	○	○	○	
確認テスト		2学期確認テスト(2学期学習した内容から出題)	○	○	○		

	年間予定授業時間数	70
--	-----------	----

評価の方法	・各授業ごとのプリント等の取組状況 ・ノートの板書状況及び提出 ・小テストの取組み内容・習得状況 ・出欠席状況 ・各学期末におこなう確認テストの状況と習得状況 以上を総合的に判断して評価する。
備考	※1クラス3展開の機械系の授業(座学)

東京都立練馬工科高等学校

教科		工業				科目	電気回路基礎			
クラス又は班		21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材		
担当者						2	実教出版 精選電気回路			
教科・科目のねらい(目標)										
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】			
電気的諸量の相互関係を理解し、それらを式の変形や計算により求めることができる。 電気に関する諸量を測定するための基本的な技術をもっている。				いろいろな電気現象がなぜ起こるかを自ら学び、自ら考えることができる。また、基礎的・基本的な知識をもとに電気現象を数学的に考察し、表現することができる。			電気の諸現象に関心をもち、学習に意欲的に取り組み、学習態度が真剣である。			
学期	(月)	指導項目		指導内容		評価基準			予定時数	
						知	思	態		
1 学期	4	量記号と接頭語		量記号と接頭語の理解		○	○	○	25	
		電気回路の要素		おもな電気用図記号の理解		○	○	○		
		電気回路の電流と電圧		電子、電流、電圧の関係の理解		○	○	○		
	5	電気回路を構成する素子		抵抗、コンデンサ、コイルの役割の理解		○	○	○		
		直流回路		直流と交流の理解		○	○	○		
	6	電気回路の電流と電圧		オームの法則の理解		○	○	○		
		抵抗の合成		直列、並列、直並列の計算の理解		○	○	○		
	7	確認テスト		1学期確認テスト(1学期学習した内容から出題)		○	○	○		
		答案返却		○	○	○				
キルヒホッフの法則		第1法則、第2法則の理解		○	○	○				
2 学期	9	消費電力と発生熱量		電力と電力量の理解		○	○	○	35	
		ジュールの法則		熱量を計算の理解		○	○	○		
	10	電流の化学作用と電池		電気分解の理解		○	○	○		
				一次電池と二次電池の理解		○	○	○		
	11	直流の総合問題		練習問題		○	○	○		
						○	○	○		
	12	確認テスト		2学期確認テスト(2学期学習した内容から出題)		○	○	○		
		答案返却		○	○	○				
再生可能なエネルギーを用いた電池		いろいろな電池について、環境への影響などの理解		○	○	○				
3 学期	1	静電気		帯電現象・静電誘導・静電遮へいの理解		○	○	○	10	
		コンデンサ		静電容量・電荷・電圧の関係の理解		○	○	○		
	2	電流と磁気		磁石と磁気の関係、N極とS極の関係の理解		○	○	○		
		磁石とクーロンの法則		磁気に関するクーロンの法則の理解		○	○	○		
	3	学期確認テスト(一年間学習した内容から出題)								
						年間予定授業時間数		70		
評価の方法		1.知識・技能(学期末確認テスト) 2.思考・判断・表現(小テスト) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(提出物)								
備考		※1クラス3展開の電気の授業(座学)								

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1. 知識・技能(学期末確認テスト) 2. 思考・判断・表現(課題・小テスト) 3. 主体的に取り組む意欲・態度(提出物)
備 考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	○授業に対して積極的に取り組んでいる ○外部講師や企業の方と接する際の礼儀作法を身につけている。 ○資料の中からの的確に情報を収集することができる。 ○自身の考えを指定された様式で書き表すことができる。
備考	朝学習として、月曜日から金曜日の朝10分間授業(週5回)を含む。

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備 考	